

は　じ　め　に

この文はリオデジャネイロでのオリンピック・パラリンピック大会が閉幕した頃に執筆しています。日本人選手の大活躍は、私達にスポーツの素晴らしさを実感させてくれました。私は夢想します。リオ大会をきっかけに県民の皆さまがスポーツを始め、生活習慣病が減少して40兆円を超えた国民医療費が減少してくれたなら。その分がスポーツ振興に投資され、平成32年東京オリンピック・パラリンピック大会で更に日本人選手が活躍してくれたなら。その活躍が県民健康の拡大再生産を軌道に乗せてくれたなら。しかし、県民の命と健康を守る公衆衛生の第一線機関である保健所は、夢想家ではなく、徹底したリアリストでなければなりません。

リオ大会は、蚊という生物が人類に如何に脅威を与えているかを教えてくれました。このまま漫然と東京オリンピック・パラリンピック大会を迎えたならば、日本からのお土産が、ジカウイルス、デングウイルス、マラリア原虫ともなりかねません。蚊とは関係がありませんが、平成28年の麻疹アウトブレイクも東京大会開催に向け、教訓として活かさなければなりません。

平成28年は、熊本県を中心とする大地震が発生した年でもあります。東京オリンピック・パラリンピック大会では、地震国である日本が、海外からお客様をお迎えするにあたり、どのような「おもてなし」を準備すべきか、災害医療や帰国困難者対策を整備することが問われます。

平成28年7月、神奈川県知的障がい者施設において、多くの入所者が死傷される凄惨な事件が発生しました。これが日本を特徴づける事件と誤解されぬよう、誤解があるならその解消を目指し、心のバリアフリーを一層進めていかなければなりません。

今年も野田健康福祉センター（野田保健所）の事業年報をお届けいたします。この年報は、我々が無責任な夢想家ではなく、楽観的なリアリストであることを皆さまにご確認いただくために発行しております。蚊の発生源対策、災害医療の整備、心のバリアフリー推進、いずれも保健所だけでは行えません。皆様からご理解、ご協力を頂きますことをお願いして、巻頭のことばとさせていただきます。

平成28年10月

千葉県野田健康福祉センター長（野田保健所長）坂本 泰啓

目 次

<p>I 総括・・・・・・・・・・・・・・・・ 1</p> <p>1 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・ 2</p> <p>2 概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 3</p> <p>3 管内の状況・・・・・・・・・・・・ 3</p> <p>4 健康相談・・・・・・・・・・・・ 5</p> <p>5 各種委員会・・・・・・・・・・・・ 6</p> <p>6 機構及び事務内容・・・・・・・・ 8</p> <p>7 職員数及び配置状況・・・・・・・・ 9</p> <p>II 総務企画課の業務概要・・・・ 12</p> <p>1 歳入・歳出決算・・・・・・・・ 14</p> <p>2 医務関係・・・・・・・・・・・・ 16</p> <p>3 薬務関係・・・・・・・・・・・・ 19</p> <p>4 献血推進事業・・・・・・・・・・・・ 22</p> <p>5 地域保健医療計画の推進・・・・ 23</p> <p>6 情報収集・整理・活用・・・・ 24</p> <p>7 協議会・委員会の開催状況・・ 28</p> <p>8 保健所保健・福祉サービス 調整推進事業・・・・・・・・・・・・ 28</p> <p>9 地域保健従事者研修・保健所 実習・・・・・・・・・・・・・・ 28</p> <p>10 広報・啓発事業・・・・・・・・ 29</p> <p>11 地域防災対策・・・・・・・・・・ 30</p> <p>III 地域保健福祉課の業務概要・・ 32</p> <p>1 保健師関係指導事業・・・・ 34</p> <p>2 母子保健事業・・・・・・・・・・ 36</p> <p>3 成人・老人保健事業・・・・ 40</p> <p>4 一人ひとりに応じた健康支援 事業・・・・・・・・・・・・・・ 41</p> <p>5 総合的な自殺対策推進事業・・ 41</p> <p>6 地域・職域連携推進事業・・・・ 42</p> <p>7 栄養改善事業・・・・・・・・・・ 43</p> <p>8 歯科保健事業・・・・・・・・・・ 52</p> <p>9 精神保健福祉事業・・・・・・・・ 53</p> <p>10 市町村支援・・・・・・・・・・・・ 61</p> <p>11 福祉関係事業・・・・・・・・・・ 63</p>	<p>IV 健康生活支援課の業務概要・・ 72</p> <p>1 結核予防事業・・・・・・・・・・ 74</p> <p>2 感染症予防事業・・・・・・・・ 83</p> <p>3 エイズ対策事業・・・・・・・・ 89</p> <p>4 肝炎治療特別促進事業・・・・ 92</p> <p>5 難病対策事業・・・・・・・・・・ 93</p> <p>6 原爆被爆者対策事業・・・・ 102</p> <p>7 食品衛生事業・・・・・・・・・・ 103</p> <p>8 狂犬病予防事業及び動物愛護 管理事業・・・・・・・・・・・・ 110</p> <p>9 環境衛生事業・・・・・・・・・・ 114</p> <p>V 資料編・・・・・・・・・・・・ 121</p> <p>1 野田保健所管内 保健・介護 サービス施設・・・・・・・・・・ 122</p> <p>2 学会・研究会における発表・・ 123</p> <p>3 表彰関係一覧表・・・・・・・・ 123</p> <p>健康福祉センター案内・・・・・・・・ 124</p>
---	---

凡 例

- 1 各表、図は、年とあるものは1月～12月の暦年、年度とあるものは、1月～翌年3月の会計年度である。
- 2 各表中、年号表示のない資料は、平成27年度分（平成27年4月1日～平成28年3月31日）
- 3 各表欄外の注を参照のこと。
- 4 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって、合計表と内訳の計が一致しない場合がある。
- 5 各表の符号は、特にことわりのないほかは、次のとおりである。
「0」掲載単位に満たないもの
「-」該当なし
「…」事実不詳又は資料なし
「△」減少を示す